

令和2年度 学校評価結果公表シート

作成 さらな保育園

1. 本園の保育目標

仏教の教えを基に「つよく・あかるく・なかよく」をモットーに子どもの主体性を育みます。
子どもを取り巻くすべての環境を大切に子ども達一人ひとりを大切に育てます。
安定した情緒の下で生活できる環境を整えます。
家庭や地域との連携を図り、子どもの健やかな成長・発達を支援します。
全身を使って物や人に働きかけ、体験を通して豊かな創造・想像する力を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

一人ひとりの特性を把握し、個別の関わりと年齢別の計画を見て、成長過程に寄り添いながら成長発達を支援する保育士間の連携を大切に、ひき続き子ども達にとって、より良い環境をめざす。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・食育計画	一人ひとりの情報を共有し、栄養士・調理員とも密に連携して、食生活が子どもの成長と共に変化が活かされるようにしています。
・質の向上のための研修の充実	研修を十分に活用する為に、リモートでの園内研修の強化と職員会議等で自主的に意見を交わすように意識しています。
・保護者とのコミュニケーションを図る。	連絡帳を直接お渡しして顔を見て話すことを大切に、子ども達の出来事は職員間で共有し、担任以外の保育士にも情報共有できるよう引き続き努力しています。
子ども一人ひとり丁寧にに関わり、安全を意識して援助する	使用後の安全を考慮し、消毒等、子ども達の日常生活の習慣を大切に過ごすことができるように努力しています。
情緒の安定を図るためのわらべうたの充実	わらべうたが日常化できるように子どもの前でうたう意識をもち、保育士同士でわらべうた研修を共有しています。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども達の安全安心を考え、環境を共有しながら方針等でできることを取り組んできたと思われる。連携施設である幼稚園(みどり幼稚園)との連携をより深めて、情報の共有を密にする。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育目標への充実と情報共有	感染防止対策から何が出来るかを、より保育士間で話し合い、実践につなげていく。
職員間のチームワークの意識	新年度にむけて新しいクラスの雰囲気を作り、新しい子ども達との信頼関係を築いていく。
保護者に対する情報の提供	個の情報をとらえて対応できるようにしていく。

6. 学校関係者の評価

アンケート結果を見せてもらい安心してお子さんを預けている親御さんの言葉が印象的であったとのこと。感染防止対策など日々の努力も大変だと感じて頂いている。